

経営比較分析表（令和3年度決算）

宮城県みやぎ県南中核病院企業団 みやぎ県南中核病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透Ⅰ未訓ガ	救臨へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	26,364	-	第2種該当	7：1

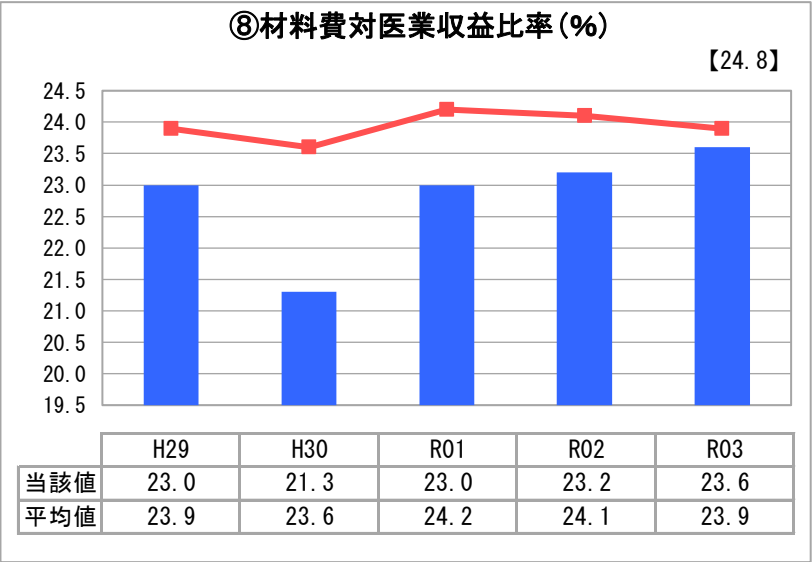
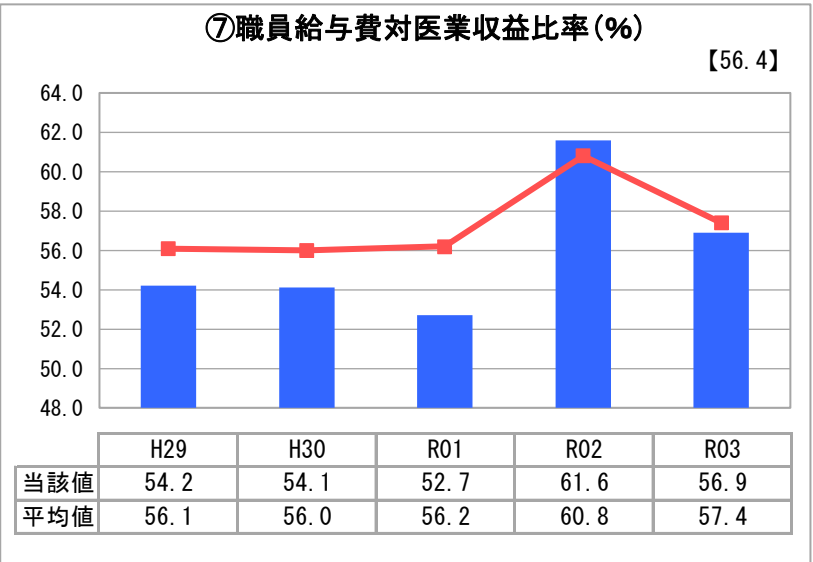
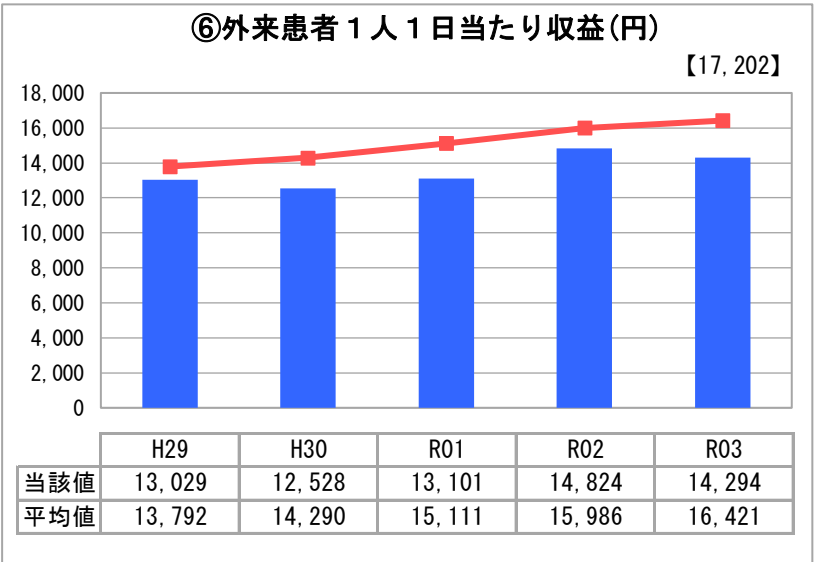
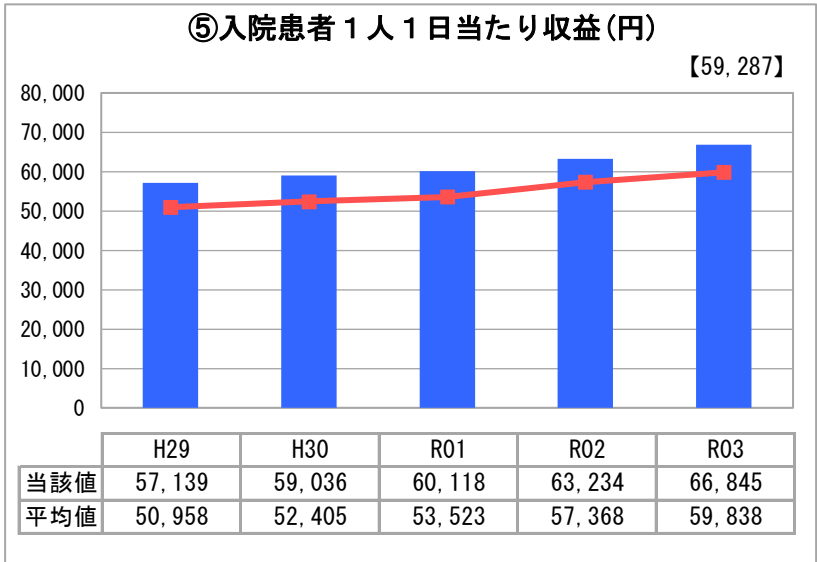
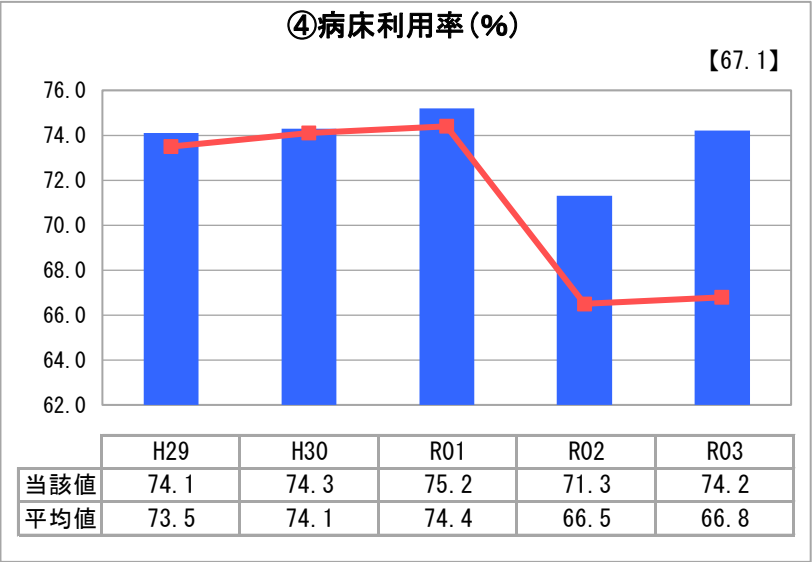
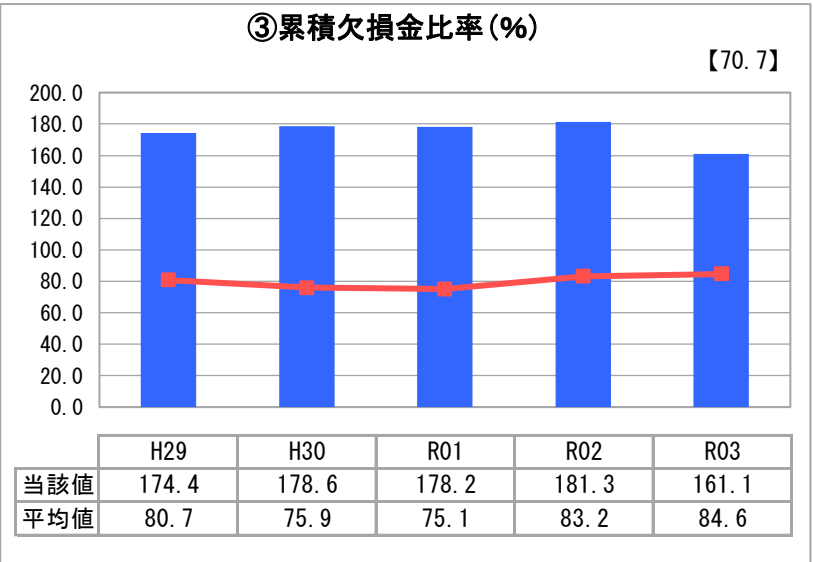
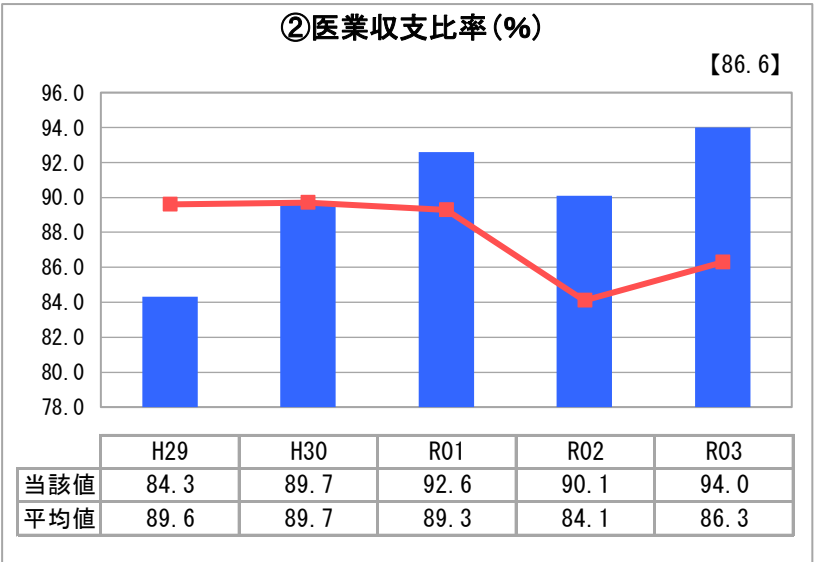
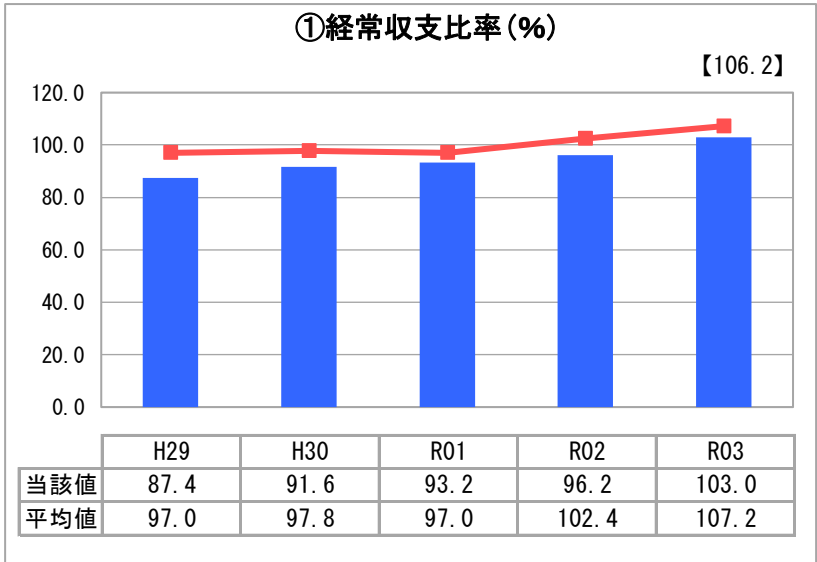
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

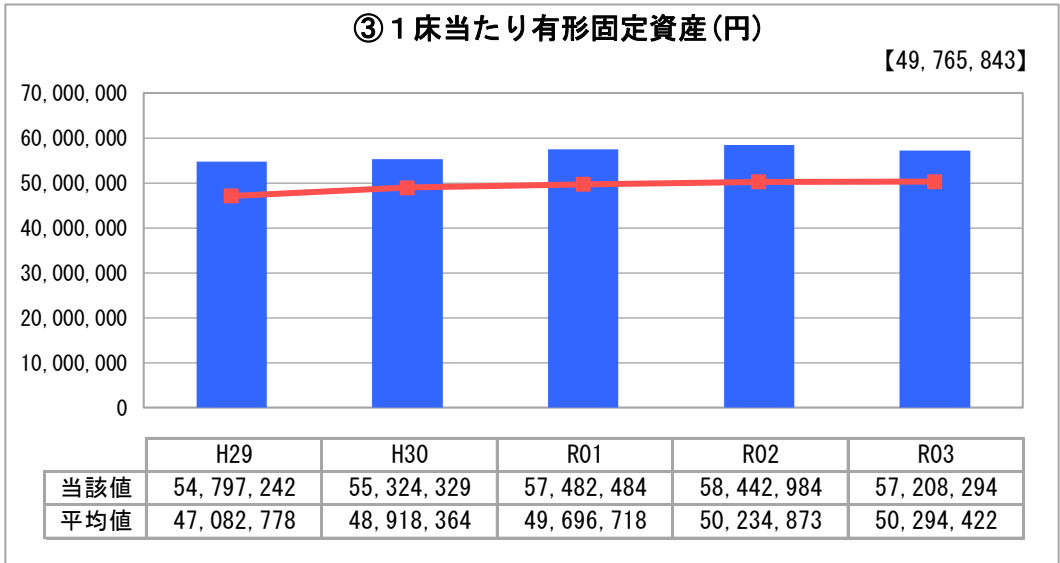
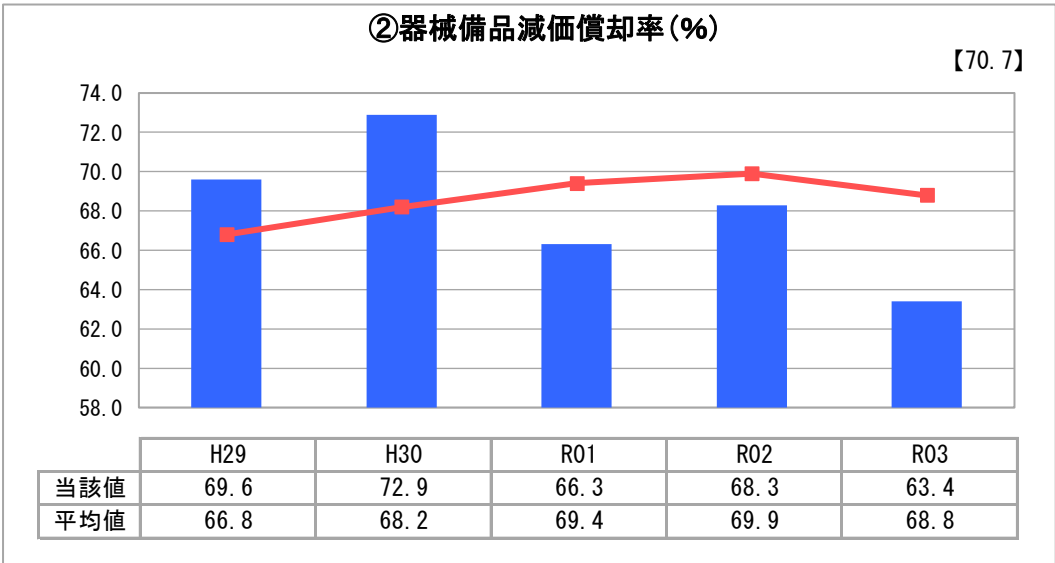
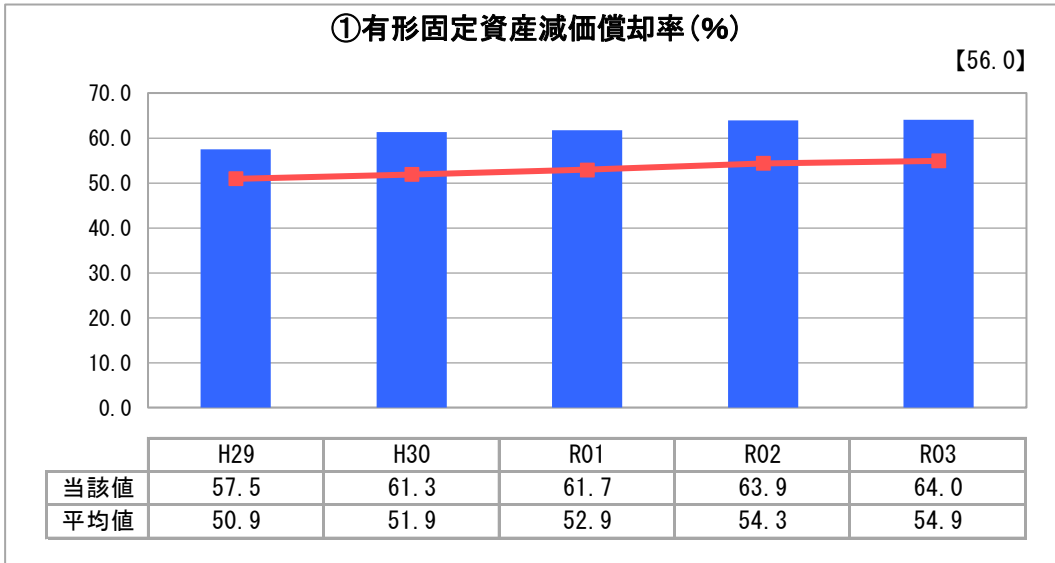
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
310	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	310
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
297	-	297

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

宮城県仙南医療圏の拠点病院として、急性期医療、専門医療、がん医療、へき地医療のほか医療スタッフ研修機能を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

今年度は患者も増え、補助金の影響もあり、経常収支比率が100%を上回った。累積欠損金比率についても前年度比で△20.2%となった。

医業収支比率・病床利用率も平均値を上回っている。

入院収益は、整形外科や眼科等の手術数が増えたことにより10%増加した。

外来収益は、6.6%増加しているが、約15,000件の抗原検査を行ったため、1人1日当たり収益は下がっている。

材料費は診療機能向上に伴う高額薬剤使用が増えている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却費率と1床当たり有形固定資産が引き続き平均値を上回っている。

病院建設から20年が経過し、少しずつ大きな修繕が出てきている。

2年後に病院全体の空調設備の更新を控えており、病院機能を維持しつつ計画的に順次更新を行っていく。

全体総括

入院・外来とも患者数が増え、診療単価も上がったが、コロナ補助金による収益増が大きい。

今後も引き続き経常収支比率を100%超すためには、看護師不足により休止している病棟の開棟による収益の確保が必要となってくる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。